



幸せな1年でありますように…

穏やかな朝日に包まれた1月1日、市内各所の社寺は、多くの初詣客でにぎわいました。願いを込めて静かに手を合わせる人、おみくじを引く人、破魔矢やお守りなどの縁起物を求める人などその思いはさまざま。また、「1年の計は元旦にあり」という諺のとおり、今年目標を立てた人も多いのではないのでしょうか。

皆さんの願い・思い・目標が実現し、今年が幸せな1年でありますように…。



オペラで「殺生石物語」を語り継ぐ

12月13日、黒磯文化会館で「くろいそオペラをつくる会」による公演が行われました。15回目の開催となった今回は、荻野治子氏脚本「殺生石物語」を上演。那須に伝わる「九尾の狐伝説」と「殺生石」の名の由来を題材とした物語です。

ホールの最後列に座っていた男性は「オペラの鑑賞は初めてだが、演者の声量に圧倒された」と話していました。次回の公演は、オペラによってどんな物語が語られるか必見です。



灯籠から漏れる明かりが幻想的な雰囲気を醸し出します

温泉街を照らす優しい光 ～冬の塩原竹取物語～

この冬、塩原温泉街が優しい光に包まれています。2月29日まで同温泉街の門前地区・古町地区では毎日夕方から竹灯籠が点灯しています。特に妙雲寺参道や蓬萊橋(表紙)には多くの竹灯籠が設置され、周囲が暗くなると柔らかな明かりが周囲を照らし、幻想的な光景が楽しめます。

竹灯籠は門前未来まちづくりの会が中心となって10月から少しずつ制作したもので、約1,000本を用意。灯籠は、塩原小中学校の子どもたちがデザインしました。

竹灯籠の点灯は1月下旬に新湯地区や元湯地区でも開始され、こちらも2月いっぱい楽しめます。



点灯式での一幕。かぐや姫が妙雲寺の参道を歩く様は昔話ながら



駅前に響く太鼓や歌の音色 地域みんなで新年を祝う

1月10日、JR那須塩原駅東口駐車場で新春恒例の東那須野初市(花市)が開催されました。

東那須野区自治会とふれあい推進協議会の共催で3年目となるこの初市。だるまなどを売る露店が並ぶほか、中央ステージでは、子どもたちによる太鼓の演奏や地元出身のシンガーソングライター Laugh さんの生ライブなどが会場を盛り上げました。また、豚汁やつきたてのお餅が無料配布され、来場者はお腹も心も大満足の1日でした。



頭をかぶり! 獅子舞で無病息災を祈願

1月8日、たかはやし保育園で獅子舞が行われ、園内には歓声と大きな泣き声が響き渡りました。

先生から、「獅子に頭をかまれるとその年は元気に過ごせる」という言い伝えを聞いた園児たち。年長の子どもたちは、自ら獅子に頭を差し出すなど大喜びしていました。一方、年少の子どもたちは、初めて見る獅子にびっくり。大声で泣きながらもしっかり頭をかんでもらったので、きっと1年間元気に過ごせることでしょう。



門前未来まちづくりの会 会長・君島 達己 さん

おとぎの国を味わえます

お客さんに冬の塩原温泉を楽しんでもらうため、企画しました。灯籠は、1日の仕事が終わった夜間に制作したもの。1本1本丁寧に仕上げ、メンバー全員の思いが込められています。皆さんに塩原温泉でおとぎの国を、見て楽しんでいただきたいです。工夫を加え、2回3回と続けていきたいと思っています。

